

令和7年度 シラバス

教科	国語	科目	論理国語	学年 学科 類型	3年 普通科 I型
単位数	2	教科書	精選 論理国語(三省堂)		
副教材等	精選 論理国語 学習課題ノート(三省堂)				

学習の目標	<p>1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしましょう。</p> <p>2 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしましょう。</p> <p>3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養いましょう。</p>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を収集し活用しながら他者との対話を通して、深い理解を目指します。 ・教材の解釈や報告、発表などの言語活動を積極的に行うことを通して、自己の思いや考えを深めたり広げたりします。 ・言葉を通して他者や社会に関わり、読書に親しむことで自己の向上を目指します。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報社会」を生きるⅡ ・言葉を見つめるⅡ ・共生社会を創造する 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会を生きるためのメディアリテラシーについて自分の考えをまとめる活動を通して、論理的、批判的に考える力を伸ばします。 ・社会的視点から言葉について考え、言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる態度を養います。 ・共生社会の実現に向けた課題について考え、発表などの言語活動を通して、自分の思いや考えを広げたり深めたりします。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・経済について考える ・国際社会を考える ・心と向き合う 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済との関わりから社会的課題について考え、必要な情報を収集し活用しながら課題解決の方策をまとめ、創造的に考える力を養います。 ・これからの国際社会の課題について資料を読んで考え、他者との対話を通して深い理解を目指します。 ・心について様々な視点から考え、考えたことや発見したことを文章にまとめる活動を通して、自分の思いや考えを広げたり深めたりします。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・「リスク社会」を生きる ・近代・現代社会を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・「リスク社会」について、資料を用いて考察する活動を通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けます。 ・現代社会を歴史の中で捉え直すことで、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「書くこと」、「読むこと」の2領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価方法	定期考査、課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価	定期考査、課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価	課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和7年度 シラバス

教科	国語	科目	文学国語	学年 学科 類型	3年 普通科 I型
単位数	2	教科書	文学国語(東京書籍)		
副教材等	文学国語 学習課題ノート(東京書籍)				

学習の目標	<p>1 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしよう。</p> <p>2 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしよう。</p> <p>3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養いましょう。</p>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を収集し活用しながら他者との対話を通して、深い理解を目指します。 ・教材の解釈や報告、発表などの言語活動を積極的に行うことを通して、自己の思いや考えを深めたり広げたりします。 ・言葉を通して他者や社会に関わり、読書に親しむことで自己の向上を目指します。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	Ⅱ部 ・随筆1 ・小説1 ・詩歌	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆を読み、筆者の経験や思いを捉え、言葉と自分との関わりについて考え、伝えあう力を高めます。 ・小説における場面の描写を表現に即して捉え、そこに描かれた世界について考え、自分の思いや考えを広げたり深めたりします。 ・詩や俳句と、俳句に関する評論を読み、詩歌の表現の特色を理解して味わうことを通して、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養います。
2 学期	Ⅱ部 ・随筆2 ・戯曲 ・小説2	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆を読み、優れた表現や叙述の仕方を理解して感性や心情を豊かにし、言葉がもつ価値への認識を深めます。 ・戯曲によって描かれた世界を捉え、言語表現の多様な在り方と可能性について考え、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。 ・文語文で書かれた小説を読み、そこに描かれた内容を理解して人間の生き方について考えを深め、我が国の言語文化に対する理解を深めます。
3 学期	Ⅱ部 ・評論 ・小説3	<ul style="list-style-type: none"> ・評論に示された筆者の論を精査し、芸術作品のありようについて考え、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けます。 ・多様な表現方法を用いて書かれた小説を読み、それぞれの作品世界を味わうことを通して、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる態度を養います。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「書くこと」、「読むこと」の2領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価方法	定期考査、課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価	定期考査、課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価	課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和7年度 シラバス

教科	国語	科目	古典探究	学年 学科 類型	3年 普通科 I型
単位数	2	教科書	高等学校 精選古典探究(第一学習社)		
副教材等	高等学校 精選古典探究 学習課題集(第一学習社)				

学習の目標	<p>1 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしましょう。</p> <p>2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしましょう。</p> <p>3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養いましょう。</p>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を収集し活用しながら他者との対話を通して、深い理解を目指します。 ・教材の解釈や報告、発表などの言語活動を積極的に行うことを通して、自己の思いや考えを深めたり広げたりします。 ・言葉を通して他者や社会に関わり、読書に親しむことで自己の向上を目指します。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・古文編 説話(二) 随筆(三) 物語(四) ・漢文編 逸話 諸家の文章 	<ul style="list-style-type: none"> ・二人の有名な歌人についての話し合い活動を通して、平安時代の古典常識や和歌について理解を深めます。 ・随筆に見られる先人のものの見方や考え方を読み解く活動を通して、自分の考えを広げます。 ・貴族の生活と年中行事を調べまとめる活動を通して、我が国の伝統的な文化について理解を深めます。 ・寓話の理解を通して、古典に親しみます。 ・読み比べ活動を通して、人物像とその考えを理解し、伝え合う力を高めます。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・古文編 評論(一) 評論(二) 日記(二) ・漢文編 漢詩の鑑賞 諸家の文章 	<ul style="list-style-type: none"> ・長編物語を読んで、人物造形や心理描写に触れ、我が国の言語文化に対する理解を深めます。 ・女性による日記文学作品を読み、先人のものの見方や考え方に触れ、自分の考えを広げたり深めたりします。 ・登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深めます。 ・漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して、自己の考えを広げ、伝え合う力を高めます。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・古文編 物語(五) 物語(六) ・漢文編 史記の群像 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語を読んで、登場人物の行動とそれを支える思想や歴史的背景を理解し、自己の考えを深めます。 ・我が国の伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、先人のものの見方や感じ方、考え方を読み解く活動を通して、自分の考えを広げたり、深めたりします。 ・古代中国の人々の想像力と考え方に触れ、豊かに想像する力を伸ばします。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価方法	定期考査、課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価	定期考査、課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価	課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価

(備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和7年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	日本史探究	学年 学科 類型	3年 普通科 I 型
単位数	3	教科書	日本史探究 詳説日本史 (山川出版社)		
副教材等	図説 日本史通覧2024年版 (帝国書院)、進研WINSTEP 日本史探究 [新課程版] (ラーンズ)、日本史 重要語句Check List (2024年度版) ノート付き (啓隆社)				

学習の目標	日本の歴史の展開を、地理的条件や世界の歴史と関連付けて考察させ、広い視野に立って理解し日本の伝統と文化の特色について認識を深めます。また、歴史的思考力を培い、日本人としての自覚と国際社会に主体的に生きる資質を養います。
学習の方法	日本の歴史の展開を、地理的条件や世界の歴史と関連付けて考察させ、広い視野に立って理解し日本の伝統と文化の特色について認識を深めます。また、歴史的思考力を培い、日本人としての自覚と国際社会に主体的に生きる資質を養います。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	第4部 近・現代 第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立 第13章 近代国家の展開 第14章 近代の産業と生活	<ul style="list-style-type: none"> ・幕末から明治にかけて日本の近代化の過程を周辺国との関係に注目しながら考察します。 ・日本がどのように近代国家として成立してきたのか政治的・経済的・社会的な側面から考察します。 ・日本の近代化の過程において、日清戦争・日露戦争・第一次世界大戦などの出来事がどのような影響を及ぼしたのか、周辺国との関係に着目して考察します。 ・日本の近代化に伴って人々の生活や産業がどのように変化してきたのか多様な側面から考察します。
2 学期	第15章 恐慌と第二次世界大戦 第16章 占領下の日本 第17章 高度成長の時代 第18章 激動する世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、現代の特色について多面的・多角的に考察します。 ・明治から第二次世界大戦までの日本の変化について、アジアや欧米諸国との関係に注目して考察します。 ・第二次世界大戦後の日本社会について、冷戦の影響、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して考察します。
3 学期	課題研究	<ul style="list-style-type: none"> ・日本史探究のまとめとして、持続可能な社会の実現を視野に入れ、地域社会や身の回りの事象と関連させて主題を設定し、諸資料を活用して探究し、現代の日本の課題の形成に関わる歴史について、多面的・多角的に考察、構想して表現しよう。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を持っている。また、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。
評価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、単元評価 ・レポート ・課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、単元評価 ・レポート ・ポートフォリオ評価・課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況、行動の観察 ・パフォーマンス評価 ・課題

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和7年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	世界史探究	学年 学科 類型	3年 普通科 I 型
単位数	3	教科書	世界史探究 詳説世界史 (山川出版)		
副教材等	最新世界史図説タペストリー二十二訂版(帝国書院)、世界史探究詳説世界史授業用整理ノート(山川出版)、総合マスター世界史(浜島書店)、世界史重要語句CheckList2024(啓隆社)				

学習の目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けて理解します。文化の多様性・複合性と現代社会の特質を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養います。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・近現代の単元をより複雑な国際関係の中で学ぶので、事前課題についてしっかりと取り組んだ上で授業に集中し、家庭では学習したその日のうちに内容を確認するようにしましょう。 ・資料集を活用して、新しく出てきた地名の位置を確認しておくように心掛けましょう。

学期	単元	学習活動とねらい
1 学期	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 第Ⅲ部 諸地域の結合・変容 第12章 産業革命と環大西洋革命 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 第14章 アジア諸地域の動揺 第15章 帝国主義とアジアの民族運動	<ul style="list-style-type: none"> ・主権国家および主権国家体制の成立について、それまでのヨーロッパの状況と比較した上で理解します。 ・産業革命、アメリカ合衆国の独立やフランス革命がヨーロッパ諸国に与えた影響を多面的・多角的に考察します。 ・19世紀欧米文化における担い手や展開された場(空間)の推移を理解します。 ・欧米諸国の進出の経緯とアジア諸国の改革の試みの成果や課題を理解します。
2 学期	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 第Ⅳ部 地球世界の課題 第18章 冷戦と第三世界の台頭 第19章 冷戦の終結と今日の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの世界大戦、世界恐慌と資本主義の変容などについて理解し、国際協力の気運の高まりと後退について考察します。 ・第二次世界大戦後から1960年代までの世界の動向を扱い、平和共存の模索について考察します。 ・1970年代以降の世界と日本の動向及び社会の特質について考察します。
3 学期	課題研究	<ul style="list-style-type: none"> ・世界史探究のまとめとして、地球世界の課題に関する主題を設定し、資料を活用して歴史的観点から多面的・多角的に探究を深化させていきます。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。
評価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、単元評価 ・レポート ・課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、単元評価 ・レポート ・ポートフォリオ評価・課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況、行動の観察 ・パフォーマンス評価 ・課題

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和7年度 シラバス

教科	公民	科目	倫理	学年 学科 類型	3年 普通科 I型
単位数	3	教科書	高等学校 新倫理 (清水書院)		
副教材等	最新図説 倫理(浜島書店)、高等学校新倫理ワークノート(清水書院)				

学習の目標	1 青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について、先哲の思想から広い視野に立って多面的・多角的に考察します。 2 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、他者と共に生きる主体としての自己を確立させ、良識ある公民としての必要な能力と態度を身に付けます。
学習の方法	・教科書を基本教材としつつ、資料豊富な副教材も活用します。 ・定期的な内容確認の小テストを実施し、学習内容の定着を図ります。 ・事前に家庭で教科書を読んでから、授業に臨みましょう。

学期	単元	学習活動とねらい
1 学期	第1編 現代を生きる自己の課題 第1章 個性的な主体としての自己 第2章 心と行動をめぐる探究 第2編 人間としての自覚 第1章 哲学の始原 第2章 唯一神の宗教 第3章 東洋思想の源流 第4章 芸術と倫理 第3編 現代をかたちづくる倫理 第1章 近代の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・人間性の定義を学び、青年期の特徴や発達課題について理解し、自己の在り方生き方を考察します。 ・ソクラテスやプラトン、アリストテレスなどのギリシャ思想について理解します。 ・キリスト教やイスラーム、仏教などの宗教について理解し、人々に与えた影響を考察します。 ・孔子に始まる儒家の思想や老子の道家の思想を理解します。 ・芸術活動における、経済的な尺度のみでははかり得ない価値と意味について倫理的な面から考察します。 ・社会の合理化の過程と近代社会の特質をとらえ、科学技術の発展と現代の倫理的課題について考察します。
2 学期	第2章 世界と人間をめぐる探究 第4編 国際社会に生きる日本人としての自覚 第1章 日本の風土と精神文化 第2章 日本の近代化と人々の生き方	<ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンス以降の先哲の思想を理解し、人間の尊厳や生命への畏敬、自己実現と幸福などについて倫理的考え方を身に付けます。 ・日本の風土の特徴を理解するとともに、古代の人々の考え方や仏教の受容から日本人の宗教観・倫理観について考察します。 ・日本における儒教、国学、庶民の思想について理解します。 ・明治期の西洋近代思想の摂取や第二次世界大戦後の日本人の新たな価値観を学ぶとともに、現代に生きる国際社会における日本人としての在り方生き方を考察します。
3 学期	第5編 現代における諸課題の探究 第1章 自然や科学技術をめぐる諸課題 第2章 社会や文化にかかわる諸課題 演習問題	<ul style="list-style-type: none"> ・生命、環境、家族、地域社会、情報社会、文化と宗教、国際平和と人類の福祉などの倫理的課題を自己の課題とつなげて探究します。 ・現代の諸課題について、これまで学んだ思想家の思考を参考に集団討論や小論文作成を実施し、思考力・表現力を伸ばします。 <p>問題演習を行い、問題の傾向に慣れるようにします。</p>

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けている。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。	人間としての在り方・生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしていたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚を深めることができている。
評価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、単元テスト ・プレゼンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、単元テスト ・プレゼンテーション ・グループワーク ・振り返りシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、単元テスト ・プレゼンテーション ・グループワーク ・振り返りシート

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和7年度 シラバス

教科	公 民	科 目	政治経済	学年 学科 類型	3年 普通科 I 型
単位数	3	教科書	政治・経済 POLITICS & ECONOMY (数研出版)		
副教材等	政治・経済資料 2025 (東京法令出版)				

学習の目標	1 現代の日本の政治・経済及び国際関係について関心を高め、政治・経済に関する基本的な知識や見方・考え方を身に付けます。 2 政治や経済、国際関係などに関する諸課題を主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民としての態度を育みます。
学習の方法	・教科書を基本教材としつつ、資料豊富な副教材も活用します。 ・授業で学んだ範囲をその日のうちに復習し、理解しながら学習を進めましょう。 ・定期的に内容確認の小テストを実施し、学習内容の定着を図ります。

学 期	単 元	学習活動とねらい
1 学 期	第1章 現代の政治 第1節 民主政治の基本原則と展開 第2節 日本国憲法と基本的人権 第3節 日本の政治機構 第4節 政治参加と民主政治の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治の基本原則を学び、民主政治の本質を理解します。 ・日本国憲法における基本的人権の尊重、国民主権、政治機構について学習し、民主主義の本質を理解します。 ・日本の政治機構について学習し、現代日本の政治について理解を深めるとともに、主権者としての政治参加の在り方を考察します。 ・学習プリント、小テスト、定期考査
2 学 期	第2章 現代の経済 第1節 経済活動の意義と経済体制 第2節 現代経済のしくみ 第3節 日本経済と福祉の向上 第3章 現代の国際社会 第1節 国際政治の動向 第2節 国際経済の動向 第3節 国際社会の課題と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義経済と社会主義経済の発展と変容、経済体制について学び、現代の日本経済及び世界経済について理解します。 ・国民経済における市場経済の機能や限界、財政や金融機関の役割などについて理解し、経済社会の在り方について考察します。 ・戦後の日本経済を学び、中小企業や農業、労使関係、少子高齢社会についての課題を考察します。 ・国際社会の変遷や国際法、国際機構について学習し、国際政治の特質について理解し、国際平和のための日本の役割を考察します。 ・貿易の意義や為替相場、国際収支のしくみについて理解し、国際協調の必要性や国際経済における日本の役割を考察します。 ・学習プリント、小テスト、定期考査
3 学 期	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習を行い、問題の傾向に慣れるようにします。 ・学習プリント、小テスト

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養っている。	現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めている。
評価 方 法	・定期考査、小テスト ・パフォーマンス評価 ・課題	・定期考査、レポート ・ポートフォリオ評価 ・課題	・出席状況、行動の観察 ・パフォーマンス評価 ・課題

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和7年度 シラバス

教科	数学	科目	数学C・数学探究 I	学年 学科 類型	3年 普通科 I 型
単位数	5	教科書	高等学校数学C (数研出版)		
副教材等	4プロセス数学II+B+C (数研出版)、精練 (啓林館/河合塾)				

学習の目標	各自の進路希望を踏まえ、高等学校における数学の学習内容を統合的に復習し、基礎学力の定着を図ります。その上で、様々な問題に取り組むことで、大学入試に対応できる力を身に付けます。
学習の方法	・教科書と並行して、問題集「4プロセス」、「精練」で演習を行います。予習・復習を徹底するとともに、疑問点の解消に向けて努力してください。 ・学習課題は必ず行い、提出物は期限までに必ず提出してください。

学期	単元	学習活動とねらい
1学期	1学期中間 数学C 第1章平面上のベクトル 第2節ベクトルと平面図形 第2章空間のベクトル	<ul style="list-style-type: none"> 平面上のベクトル、空間のベクトルについて学習します。 課題プリント、小テスト、定期考査を行います。
	1学期末 数学C 第2章空間のベクトル 数学I AⅡBC演習	<ul style="list-style-type: none"> 空間のベクトルについて学習します。 数学I AⅡBCの内容について学習を行います。 課題プリント、小テスト、定期考査を行います。
2学期	2学期中間 数学I AⅡBC演習	<ul style="list-style-type: none"> 数学I AⅡBCの内容について学習を行います。 課題プリント、小テスト、定期考査を行います。
	2学期末 数学I AⅡBC演習 共通テスト対策演習	<ul style="list-style-type: none"> 数学I AⅡBCの内容について学習を行います。 共通テストに向けた対策演習を行います。 課題プリント、小テスト、定期考査を行います。
3学期	総合問題演習 家庭学習期間	<ul style="list-style-type: none"> 国公立2次試験対策演習などを行います。 自発的に問題演習を行います。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	数学における基本的な概念や原理・原則を体系的に理解しているとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に表現したりする技能を身に付けている。	関係式とその変量の変化に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力や事象に数学的構造を見出し、数理的に考察する力を身に付けている。	数学の良さを認識し、数学を活用したり、粘り強く考えたり、問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善したりしようとしている。
評価方法	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	発表 取組状況

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和7年度 シラバス

教科	理科	科目	生物探究	学年 学科 類型	3年 普通科 I型
単位数	2	教科書	改訂版 生物基礎 (数研出版)		
副教材等	スクエア最新図説生物(第一学習社)・セミナー生物基礎(第一学習社)・生物基礎 実験ノート				

学習の目標	1 実験・実習や科学史研究を通して、「生物基礎」の内容を深く探究します。 2 探究をする過程について学び、科学的な方法を習得します。
学習の方法	・「生物」の教科書や資料集等を用いて、生命現象のしくみを理解することが大切です。また、問題集を繰り返し解くことで、知識を定着させることも大切です。 ・観察・実験では、結果に対して、なぜそうなるのかを深く思考し、考察することを心掛けてください。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	1 生物の特徴 (1) 細胞 (2) 呼吸と光合成 (3) 探究活動	・細胞の特徴を理解するために探究活動を通じて分子レベルの学習をします。 【探究活動】 原核細胞の観察 【探究活動】 1日の消費エネルギーの算出 ・観察・実験の観察、発表(パフォーマンス評価)、実験ノート、行動の観察、課題プリント、定期考査
	2 遺伝子とそのはたらき (1) DNAの構造 (2) 遺伝情報の複製と分配 (3) 遺伝情報の発現 (4) 探究活動	・遺伝子とそのはたらきを理解するために探究活動を通じてDNAについての学習をします。 【探究活動】 DNA分子模型の制作 ・観察・実験の観察、発表(パフォーマンス評価)、実験ノート、行動の観察、課題プリント、定期考査
2 学期	3 ヒトの体内環境の維持のしくみ (1) 神経系と内分泌系による調節 (2) 免疫 (3) 探究活動	・恒常性や免疫について探究活動を通じて医学的な側面から理解を深めます。 【探究活動】 白血球の食作用 ・観察・実験の観察、発表(パフォーマンス評価)、実験ノート、行動の観察、課題プリント、定期考査
	4 生物の多様性と生態系 (1) 植生と遷移 (2) 植生の分布とバイオーム (3) 生態系と生物多様性 (4) 環境E S D (5) 探究活動	・持続可能な社会づくりに向けて、野外観察を通じて地域の生物多様性について理解を深めます。 【探究活動】 里山の生物多様性 ・観察・実験の観察、発表(パフォーマンス評価)、実験ノート、行動の観察、課題プリント、定期考査
3 学期	5 総合演習	・これまで学習した内容について、プリントを用いて、総復習に取り組みます。 ・課題プリント

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとするとともに、生命を尊重して自然環境保全に貢献しようとしている。
評価 方 法	観察・実験の観察、発表、実験ノート、行動の観察、課題プリント、授業ノート、定期考査	観察・実験の観察、発表、実験ノート、行動の観察、課題プリント、授業ノート、定期考査	観察・実験の観察、発表、実験ノート、行動の観察、課題プリント、授業ノート

- (備考) 1 1, 2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和7年度 シラバス

教科	理科	科目	地学探究	学年 学科 類型	3年 普通科 I 型
単位数	3	教科書	高等学校 地学基礎 (啓林館)		
副教材等	地学学習帳 (愛媛県高等学校教育研究会理科部会) ・ ニューステージ地学図表 (浜島書店) ・ センサー地学基礎 (啓林館)				

学習の目標	1 「地学基礎」の内容を深く学習します。 2 班活動を行い、説明し合いながら知識を深めます。
学習の方法	・授業では「地学基礎」での学習内容の重要ポイントをまとめます。確実に理解しておきましょう。 ・家庭学習では実習や演習の内容を復習することに重点を置いてください。教科書や副教材を熟読し、理解を深めてください。

学期	単元	学習活動とねらい
1 学期	第1部 固体地球とその活動 第1章 地球 第2章 活動する地球 第2部 大気と海洋 第1章 大気の構造 第2章 太陽放射と大気・海水の運動 第3章 日本の天気	<ul style="list-style-type: none"> ・固体地球の大きさや内部構造などについて、観測・計測データを用いて、考察し、復習します。 ・地球表面で生じる地震活動や火山活動を、地球内部での対流運動やプレートテクトニクスと関連付けて復習し、理解を深めます。また、火成岩の分類について、実験を交えて復習します。 ・大気圏の構造や水と気象現象のかかわりについて、実験を交えながら復習することによって理解を深めます。 ・地球規模で生じる気象現象について、地球のエネルギー収支を踏まえて復習することによって、理解を深めます。 ・日本の天気について、これまで学習した水と気象現象の関わりやエネルギー収支を交えながら学習することで理解を深めます。
2 学期	第3部 移り変わる地球 第1章 地球の誕生 第2章 地球と生命の進化 第3章 地球史の読み方 第4部 自然との共生	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙や地球の誕生について、時間的、空間的スケールの違いを念頭に置きながら復習し、理解を深めます。 ・地上の環境の変化や生物の進化について、地層中の堆積構造や化石などから推定する思考力を養うとともに、先史時代と現在のつながりを理解します。 ・これまで学習した内容を念頭に置き、これからの自分の生活において、学習した内容をどのように活用していくのかを考えます。
3 学期	総合演習	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容の復習に取り組みます。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	地学に関わる諸現象や形成される地形や地質などについて、複数の視点から内容を捉え、理解するとともに、諸資料を効果的に調べたり、実験を行ったりする技能を身に付けている。	地学に関わる諸現象や形成される地形や地質などについて、その現象の原理や地形・地質などの成因を、複数の視点から理解・考察したり、実験の結果を他者が理解しやすいように適切にまとめ、表現することができる。	地学に関わる諸現象や形成される地形や地質などについて、自身の生活に生かし、活用しようとする態度を身に付けている。また、学習活動全般において、課題を確実に提出したり、教員の指示をよく聞いて活動することができる。
評価 方 法	定期考査 パフォーマンス評価 課題	定期考査 パフォーマンス評価 課題	定期考査 パフォーマンス評価 課題

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和7年度 シラバス

教科	理数	科目	体育	学年 学科 類型	3年 普通科
単位数	3	教科書	現代高等保健体育 改訂版 (大修館)		
副教材等					

学習の目標	<p>1 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けます。</p> <p>2 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える力を養います。</p> <p>3 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養います。</p>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動、球技・武道(選択)、ダンス・陸上競技(選択)を通して、自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てます。 ・体育理論では、豊かなスポーツライフの設計の仕方について学びます。

学期	単元	学習活動とねらい
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動 ・選択1 (球技【ソフトボール・バレーボール・テニス・バドミントン】・武道) ・体育理論 	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを味わい、心と体が互いに影響し変化することを学びます。 ・球技では、多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解します。仲間と連携しゲームを展開し、生涯にわたって運動を豊かに継続するための意欲を育みます。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解します。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることを目指します。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動 ・ダンス ・選択1 (球技【サッカー・バスケットボール・テニス・バドミントン】・武道) ・体育理論 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力を高める運動を行います。その際、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てて取り組むようにします。 ・宇和島東高校で受け継がれている動きを表現します。テーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で対極の動きや空間の使い方に変化をつけて即興的に表現することで、イメージを具現化した作品にします。 ・球技では、多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解します。仲間と連携しゲームを展開し、生涯にわたって運動を豊かに継続するための意欲を育みます。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることを目指します。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について学習を主体的に取り組むようにします。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・選択1 (球技【ソフトボール・バレーボール・テニス・バドミントン】・武道) 	<ul style="list-style-type: none"> ・球技では、多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解します。仲間と連携しゲームを展開し、生涯にわたって運動を豊かに継続するための意欲を育みます。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。</p>	<p>生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。</p>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンス評価 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポート ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・行動の観察

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和7年度 シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅢ	学年 学科 類型	3年 普通科 I型
単位数	4	教科書	ELEMENT English Communication Ⅲ (啓林館)		
副教材等	Vision Quest総合英語 Ultimate 2nd Edition、 Vision Quest New English Grammar 47 WORKBOOK、英単語ターゲット1900、Next Stage				

学習の目標	1 日常的な話題や社会的な話題について、情報などを整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりする力を身に付けます。 2 様々な話題の英文を読み、文の構造を把握するとともに、内容的確に理解する能力を養います。 3 CEFRのB1以上の取得を目標とします。
学習の方法	・授業は、教科書の文章を読んでおくことが前提になります。教科書本文を段落構成に注意しながら読み、各段落の要点をつかんだ上で授業に臨みましょう。自分の力で取り組む習慣を継続しましょう。 ・英語を読んだり聞いたりしたときや自分の意見を表現するときに、分からないことがあれば、辞書や文法書を利用して、自分で調べ、正確な英語を発信できるようになりましょう。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学 期	Lesson 1 Energy	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガスに関するグラフを読み取り、二酸化炭素の排出量を削減する方法について自分の考えを書きます。 ・地球温暖化について、写真やグラフを見ながら、自分の考えや意見を伝えあうことができるようになることを目標とします。
	Lesson 2 Environment and Life	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に関するSDGsへの興味の度合いを表すグラフの特徴を読み取り、SDGsを促進する方法について自分の考えを書きます。 ・自然保護について、写真やグラフなどのスライドを使って発表することができるようになることを目標とします。
	Lesson 3 Health and Life	<ul style="list-style-type: none"> ・健康のためにすべきこと、すべきでないことについての話し合いをもとに、どのように健康的な生活を送るかについて自分の考えを書きます。 ・日本人の睡眠時間について、グラフを見ながら、状況を説明したり、自分の考えや意見を理由を付けて伝えることができるようになることを目標とします。
	Lesson 4 Humans and Techonology	<ul style="list-style-type: none"> ・対面とオンラインでのコミュニケーションを比較し、コミュニケーション技術が人を孤独にするかどうかについて、自分の考えを書きます。 ・インターネットの良い点と悪い点について自分の考えや意見を理由を付けて伝えることができるようになることを目標とします。
2 学 期	Lesson 5 Diversity	<ul style="list-style-type: none"> ・講演の案内を読んで、多様性を尊重する社会にするために、どちらの講演内容がより役立つかについて、自分の考えを書きます。 ・家事労働時間の男女差について、挿絵やグラフを見ながら、自分の考えや意見を、理由を付けて詳しく伝えあうことができるようになることを目標とします。
	Lesson 6 Education	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン大学と海外留学のメリットとデメリットを比較し、ロールプレイで相手を説得する活動を行います。 ・大学進学の意味について、まとまりのある文章で、自分の考えを詳しく書くことができるようになることを目標とします。
	Lesson 7 Miracles of Nature	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の持つ驚くべき能力の中から、どのような能力を人間生活に生かしたらよいかについて話し合います。 ・社会支援プロジェクトについての英文を読み、理由を示しながら、まとまりのある文章で、自分の考えを詳しく書くことができるようになることを目標とします。
	Lesson 8 Sustainable Development	<ul style="list-style-type: none"> ・昔と今の生活を比較して、科学技術によって私たちの生活が環境に優しいものになったかについて、自分の考えを書きます。 ・食品廃棄物について、グラフを参考にしながら、自分の考えや意見を、理由を付けて詳しく伝えあうことができることを目標とします。
3 学 期	Lesson 9 Art and Heart	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を聞きながら勉強することに対する賛成意見と反対意見を考え、それに対する自分の意見を書きます。 ・読んだ物語について、場面に合う表現を使って、登場人物の考えや気持ちを伝えあうことができるようになることを目標とします。
	Lesson 10 Human Relationships	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生活で思い出に残ったイベントについて話し合い、ロールプレイで相手にインタビューを行います。 ・高校生活の思い出に関する質問について、準備しなくても自分の考えや気持ちを答えることができるようになることを目標とします。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価 方 法	定期考査、パフォーマンステスト、小テスト	定期考査、パフォーマンステスト、レポート課題	言語活動への参加状況、パフォーマンステスト

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和7年度 シラバス

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅲ	学年 学科 類型	3年 普通科 I型
単位数	2	教科書	Vision Quest English Logic and Expression III(啓林館)		
副教材等	Vision Quest総合英語 Ultimate 2nd Edition、 Vision Quest New English Grammar 47 WORKBOOK、英単語ターゲット1900、Next Stage				

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりした内容について、やり取りをし、その内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする力を身に付けます。 2 日常的な話題について、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いる力を身に付けます。 3 CEFRのB1以上の取得を目標とします。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を読んだり聞いたりしたときや自分の意見を表現するときに、分からないことがあれば、辞書や文法書を利用して自分で調べてみましょう。 ・授業に意欲的に参加し、積極的に自分の意見を英語で表現したり、伝え合ったりしよう。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学 期	Lesson1 Friendship and improvement Lesson2 Which is better, a paper or an electronic dictionary? Lesson3 Can you change your personality? Lesson4 How do we make decisions? Lesson5 Online doctor consultations Lesson6 Healthy lifestyle Lesson7 What do you do after school?	<ul style="list-style-type: none"> ・留学中の学生の悩みを解決するためのアドバイスを書くことができます。 ・紙の辞書と電子辞書の良い点と留意点についてプレゼンテーションを行うことができます。 ・性格に影響を与えるものと性格は変えられるのかについて文章を書くことができます。 ・意思決定に関する授業レポートを書くことができます。 ・オンライン診療と対面診療を比較しそれぞれの利点を書くことができます。 ・高校生が生活スタイルを改善するためのアドバイスを書くことができます。 ・高校生にとって部活動は必要かどうか意見を書くことができます。
2 学 期	Lesson8 Direct and indirect ways of communication Lesson9 Should we use social media? Lesson10 Are you a good user of social media? Lesson11 Lifetime employment or career changes? Lesson12 Diversity in the workplace Lesson13 The rise of the cashless society Lesson14 The gap is widening.	<ul style="list-style-type: none"> ・日本のコミュニケーションスタイルに関する自分の意見を書くことができます。 ・高校生にとってソーシャルメディアが有益かどうかに関するレポートを書くことができます。 ・高校生がソーシャルメディアを利用する際に直面しうる困難な状況と、どのようにしてそれを解決するかについて文章を書くことができます。 ・日本の終身雇用制度と転職について自分の意見をまとめることができます。 ・社会の多様性とどのようにして多様性を促すかについて文章を書くことができます。 ・電子決済のメリットとデメリットについてスピーチをすることができます。 ・社会の不平等さの解決策に関してスピーチをすることができます。
3 学 期	Lesson15 What can we do to solve global warming? Lesson16 Saving the earth from plastic waste Lesson17 Innovations in machine translation Lesson18 Technological changes in agriculture Lesson19 Just knowing about SDGs is enough? Lesson20 Importance of education	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化に関して原因と考えられる解決策についてプレゼンテーションを行うことができます。 ・機械翻訳の進歩についてディベートをすることができます。 ・将来の農業に関してプレゼンテーションを行うことができます。 ・SDGsのために私たちに何ができるかスピーチをすることができます。 ・世界の教育の状況を改善するために必要なことを話し合うことができます。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評 価 方 法	定期考査、パフォーマンステスト、小テスト	定期考査、パフォーマンステスト、レポート課題	言語活動への参加状況、パフォーマンステスト

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和7年度 シラバス

教科	SS	科目	グローバル探究Ⅱ	学年 学科 類型	3年 普通科Ⅰ型
単位数	1	教科書	本校で作成したプリントおよび資料		
副教材等	本校で作成したプリントおよび資料				

学習の目標	<p>1 「STREAM探究基礎」「STREAM探究Ⅰ」の研究成果をまとめます。アウトプットに係る活動を積極的に行い、研究の深化と課題発見力・科学的探究力、多面的思考力の充実を図ります。</p> <p>2 英語による研究発表やサイエンスディスカッションを通して国際性を身に付けていきます。</p>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・「STREAM探究基礎」「グローバル探究Ⅰ」で行った課題研究の成果をまとめ、科学論文コンテスト等へ出品します。 ・外国人研究員による出張講義や科学論文講読を行います。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	1 課題研究	<ul style="list-style-type: none"> ・追実験や考察の再検証を行い、研究の精度を高めていきます。 ・1、2年次の課題研究の成果や修正の内容を論文にまとめる活動を通じて、科学的に探究する力や多角的に思考する力を高めます。 ・科学系コンテストへの出品や発表会への参加を通じて、協働性やコミュニケーション力を高めます。 ・研究の成果を英語で論文やポスターにまとめ表現する力を身に付けていきます。
2 学期	2 キャリアデザイン探究①	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究の成果物を用いて英語によるポスターセッションを行います。 ・愛媛大学留学生とSDGsに関する課題について英語によるディスカッションを行います。 ・先端的な科学技術や複合分野（高大接続を意識した学習内容）に関するレポートを作成する活動を通じて、自己のキャリア形成について考えていきます。
3 学期	3 キャリアデザイン探究②	<ul style="list-style-type: none"> ・専門書や科学論文等の講読、研究内容の振り返りを通じて、キャリアデザインを具体化させていきます。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	<p>科学的な見地から実験結果等を正確に検証し、論文としてまとめることができている。</p> <p>適切な分析方法、検証に基づいてグループでの評価及び個人のレポートをまとめることができている。</p>	<p>複数のデータや研究成果の客観的根拠に基づく検証により、論理を構築し、論文としてまとめられている。</p> <p>科学英語について、研究に関する質疑に適切に応答することができている。</p>	<p>コンテストへの出品に向けた班員との協働的な活動、よりよい作品を目指す粘り強い取組を行うことができる。</p> <p>科学的な視点から、多角的に検証したり、よりよい研究へと進化を図ろうとする。</p>
評価 方 法	課題研究論文評価 レポート評価	課題研究論文評価 レポート評価 単元別テスト 口頭試問	課題研究論文評価 レポート評価 パフォーマンステスト

(備考) 定期考査は実施しない。